

# D

ダイバーショナルセラピー 「もっと楽しく!もっと自分らしく!」

# Diversional Therapy 通信

Vol. 22



発行/NPO法人 日本ダイバーショナルセラピー協会 2026年3月31日発行 〒630-0256 奈良県生駒市本町6-4 D&Dビル3F TEL 0743-84-7228 FAX 0743-84-7218

DTとはダイバーショナルセラピー(Diversional Therapy)の便宜的略称です

## 「DT実践発表全国大会 in 東京」特集号

DTAJ 会員の皆様、この『DT通信』を手にとってくださった皆様、お健やかに過ごしてでしょうか。春の息吹とともにマスク姿も減って、まちなにも彩りと表情が戻ってきました。2025年の「DT実践発表全国大会 in 東京」は、多くの会場とオンライン参加で盛り上がり、第21期ダイバーショナルセラピーワーカー養成講座も2日間の対面講座を経て24名が認定されました。「楽しく自分らしく」をキーワードに海外との交流も含めて、今号も多くの笑顔と多彩なアイデアを載せてお届けします。

**アートで遊ぼう!**

SONAS & アートセッションから

特別養護老人ホーム  
サン・サン赤坂(東京)



特定施設 のんびり村通津

Presbyterian Village North Retirement Community  
(ダラス/アメリカ)



特別養護老人ホーム  
つきみの園(東京)



介護老人保健施設  
ひまわり(札幌)



Belong Chester  
(リバプール/イギリス)



ただ作品を作るだけでなく、DTではSONASとアートを組み合わせさせたセッションがよく行われます。さまざまな刺激とストーリー性のあるアクティビティから素敵な作品が生まれます。海外の高齢者施設で見かけたアートも添えて・・・

## 2025年度 通常総会

## 2025年度通常総会を書面とオンラインで開催しました

会員の皆様に日本DT協会の財務と活動状況をご報告し、決算や役員選任の承認、活動へのご提案などをいただくと同時に、会員相互のコミュニケーションの場として年に一度開催しております「通常総会」を、2025年度も6月14日(土)に書面議決とオンラインによって開催しました。会員の皆様には前もって議案を書面で郵送し表決を返送していただくという形で賛否を伺っておりますが、顔を合わせての報告としてオンライン総会を開催しています。当日参加は51人でした。

オンライン総会では、各審議が全て議決されたことが報告され、2025年度の理事・監事には次の11名が選任されました。今年度は理事の林新二郎様が退任され、後任に高崎徹さん(DTW第1期生)が就任しました。林様には長年ダイバーショナルセラピーの普及と発展にひとかたならぬご貢献をいただきましたことに、厚く感謝申し上げます。

総会後は恒例の特別講演会を開催し、一般の方も含めて約100人の参加がありました。講師としてお招きした大阪国際がんセンターの道田知樹先生に「がん医療の現状と将来～医療・介護でのシームレスなセルフケアを見据えて～」



道田先生を囲んで

と題してご講演いただきました。道田先生は「会員の方々とも話したい」と、事務局においでくださってのオンライン発信となり、集まった8名のDTW会員で事務局は大入り満員の盛況でした(要約は別掲)。講演会後のオンライン懇親会では、会場の事務局に全国からの参加者とともにフリーディスカッションが行われ、道田先生への質問や、最近のDT活動の様子などが話題になりました。

また、7月には長年事務局としていたオフィスを奈良県生駒市に引っ越すことになっていたため、大阪から発信する最後のオンライン総会でもありました。

## 日本ダイバーショナルセラピー協会2025年度役員

	氏名	所属	Home
理事	江口 慎悟	デイサービスセンター「まおる」代表	熊本
	榎本 光宏	社会福祉法人東京聖学院 特別養護老人ホーム つきみの園 施設長	東京
	岡添 兆平	株式会社ホームケアサービス山口 代表取締役	山口
	岸本 英明 (副理事長)	豊生会グループ 株式会社おいらく デイサービスセンター「エルパサ」副センター長	北海道
	澤本 美佐緒	公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団 常務理事	東京
	芹澤 隆子 (理事長)	旬ウエル・プラネット 代表取締役 Australian Recreational Therapy Association 会員	奈良
	高崎 徹	社会福祉法人ユウカリ優都会 理事 介護老人保健施設 ユーカリ優都苑 事務長	千葉
	田附 潤一	事務局長兼任	奈良
	中村 博一	有限会社ケアフリー ケアプランセンター 代表	大阪
	吉田 美幸 (副理事長)	医療法人社団 仁誠会 相談役	熊本
	監事	山崎 佑	山崎税理士事務所 代表

(五十音順)

## 《2025年度の特別講演会》

## がん医療の現状と将来

～医療・介護でのシームレスな  
セルフケアを見据えて～

増える治療法の選択肢予後を  
どのように生きるか？

1981年以降、日本人の死因の第1位のがんであり、今や2人に1人ががんと診断されるという時代。がんに罹るか罹らないかより、むしろ“どこに発症？”の方が問題かもしれません。5年生存率を見ますと、胃とか結腸というのはどの時代もだいたい60%以上ですが、すい臓がんに至っては最近でさ

えも10%以下です。肺がんもそんなに高くないのですが、化学療法が進んで35%くらいまで上がってきました。それに比べると罹患率では1位の大腸がんが、5年生存率では70%前後となっています。ステージによって違いがありますので、これはあくまで平均ということですが。

大阪国際がんセンターにおける私の専門は食道、胃、小腸、大腸といった消化管内科ですが、これらは早期発見できれば手術である程度助かる比較的、予後がよい病気と考えられるようになりました。これに貢献したのが一つは内視鏡を使う手術の進歩です。そしてもう一つ、手術支援ロボット「ダヴィンチ」があります。

内視鏡手術には、ループ状のワイヤーを腫瘍にかけて高周波電流を流して切除するEMR(内視鏡的粘膜切除術)と、

高周波電流を流せる特殊なメスで粘膜下層を剥離するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）とがあり、どちらも早期の食道・胃・大腸がんを根治的に剥ぎ取る低侵襲治療です。従来の開腹してがん周辺の組織やリンパ節まで大きく切り取るという外科手術に比べて、内視鏡手術では切除部分も小さく術後の生活への影響がほとんどない低侵襲治療であるというのが最大のメリットです。同じく低侵襲治療である「手術支援ロボット・ダヴィンチ」は、さらに進んだがんにも適用されます。このように近年では胃がんや大腸がんにおいては内視鏡手術が外科手術の割合を上回るようになり、がん治療のメジャープレーヤーとして活躍しています。

一方、薬を使う化学療法も、抗がん剤でがん細胞を攻撃する方法が今までメインだったのですが、自分の免疫の力を上げてがん細胞をなんとかしようという「がん免疫療法が発達してきました。例えばオプジーボなどは皆さんもよくご存じでしょう。

## 多職種連携でシームレスな医療 患者自らが身を護るセルフケアも

このようにがん治療には多くの選択肢がありますが、そういった複雑な治療をやっていくために、新技術のハンズオンセミナーや動物モデルを使った手術のシミュレーションを繰り返すなど、常に高難易度の内視鏡の技術を磨く勉強を続けています。私は検査・診断・治療法の選択の段階から患者とその家族への説明や相談にかなりの重点を置いていますし、治療・手術の実施～術後のケアといったプロセスでは多様な職種が関わってきます。

このような多職種による切れ目のない連携を「シームレスなケア」というわけですが、2014年に「周術期管理チーム認定制度」というのができて、看護師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士などの多職種が周術期管理チームの一員として専門性を発揮することが奨励されるようになりました。

医療体制は整ってきましたが、ここで大事なのが患者自身と家族の治療への理解と協力体制です。そして何よりも患者本人がどのようなライフスタイル（生き方）を望み、予後の生活をどうしたいのか？高齢の方なら残りの人生をどう生きたいのか？そこまでを考えた選択が必要になってきます。医療技術の目覚ましい発展とともに、がんになったからといって諦めたり、病院任せにしない患者自身の“シームレスなセルフケア”ということが問われています。

## “人生を最期まで楽しむ” Narrative Based Medicineにも注目

最後に、医療サイドからの気づきをお話したい。ナラティブ・ベイスト・メディシン(Narrative Based Medicine / NBM) ということが問われ始めています。日本語的には「物

語の医療]ですが、患者さん自身の「生きたい人生を尊重する医療」と言えるかもしれません。従来、EBM(エビデンス・ベイスト・メディシン)の医療というのが一般的で、ガイドラインもすべてEBMに基づいて作られているわけですが、例えば治癒が望めないとか老化による不調とか延命処置を望まない方に関しては、こういった治療だけで十分と言えるのか？こういった治療は本人が歩んできた人生や築き上げてきた価値観とか疾患に対する捉え方に沿ったものと言えるのか？という考えがNBMの根底にあります。

そのように患者の思いに即した医療が選択されていくということが実際は推奨されていて、最近では老衰が多いと言われているのも、このような考え方が特に高齢者の方に関しては浸透してきているのではないかと思います。ダイバーショナルセラピーの果たす役割も、今後このような場面で活かされていくのではないかと期待しています。



地方独立行政法人  
大阪府立病院寄稿  
大阪国際がんセンター

## 道田 知樹 氏

消化管内科主任部長  
大阪大学医学部臨床教授(消化器内科)

### 【プロフィール】

1987年大阪大学医学部卒業。日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員・非静脈瘤性上部消化管出血における内視鏡診療GL評価委員長。日本消化器病学会専門医・指導医・評議員。大阪大学医学部附属病院、国立大阪医療センター、大阪厚生年金病院、帝京大学ちば総合医療センター、大阪大学医学部附属病院、国立大阪医療センター、大阪厚生年金病院、帝京大学ちば総合医療センター、埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科教授などを経て、2020年より現職。専門領域は消化管で、特にESDでは数多くの症例を経験。世界に通用する内視鏡医療を目指して現場実践&指導に力を注いでいる。著書『DVDブック Dr. 道田の消化器内視鏡治療実況中継』（日総研出版）。

## 全人的なケアのためには 各領域がシームレスに結びついていく必要性

- ・医療、看護、介護
- ・いわゆる身内(キーパーソン、他)  
がん告知、手術説明・同意、緊急時の意思確認、自己選択・術後ケアのサポート。  
家族以外にもNBM/セルフケアをサポートするスタッフの存在が望ましい。

EBMからNBM/セルフケアを通じて、  
「人生最期まで楽しく自分らしく」  
生きることが最終目標

## 第20期「DTW養成講座」

## 熊本と札幌で各法人が「DT実践発表会」を開催

複数の施設でDTを実践している法人では、職員の切磋琢磨と日ごろの成果を共有し合うために法人内の「DT実践発表会」が毎年実施されています。

8月には熊本の医療法人社団仁誠会で、初めての試みとして全職員にオンデマンドで各発表を配信。6組がエントリーしました。職員一人一人が視聴し投票することで「最優秀賞」を決め、9月に東京で開催された「DT実践発表全国大会」で発表することになります。「自分の都合の良い時に視聴できる」と職員にも好評で、最優秀賞は尾崎美由紀さん(第10期)と初田陽子さん(第18期)が3年にわたって取り組んだDT実践に決定しました(詳細は特集ページをご覧ください)。

11月には札幌の豊生会グループが第8回目の「DT事例発表会」を(株)おいらーくのデイサービスセンター「エルパサ」で開催。今年は「DTフェス・好きなこと、したいことは必ずある!」をテーマに各施設から8組の発表が行われました。参加者の投票の結果、林やよいさん(第11期)が最優秀賞に選ばれました。

両発表会とも、DTアセスメントから導き出したユニークな実践が職員に共有され、また新たなアイデアへと広がっていったようです。

DTW  
だよりDTワーカーさんから届いた  
お便りをご紹介します。蘆澤 優美さん  
(第10期DTW)

私は変わらず元気にしており、職種が訪問介護なので、レクリエーションのようなアクティブな活動はできませんが、日々の仕事の中で、訪問介護だからこそできること、五感に繋がりのようなことに視点を向けながら、日常生活の支援に取り組んでいます。すると、不思議と五感のどこかに視点を向けるだけで、身体感覚を取り戻せる方が多いのと、一瞬視点が変わること、かなり気分に変化が現れる方が多く、面白いな～と感じています。

日常のさりげない匂いや洗濯物の香り、手触り、節々の痛み、食感、踏みしめる足の感覚など、実は意識を向けられることってたくさんあって、当たり前すぎて意識もできなかったことが、ご自身にとっては誇らしく愛しいことだったり、本当にお一人お一人違って興味深いです。これからも、日常の本当に小さい事柄の中の喜びや感覚を大切に、仕事に取り込んでいけたらと思っています。

## 第21期ダイバーショナルセラピーワーカー養成講座 2025年10月25日～2026年1月18日

## 今期もオンライン&amp;2日間の対面で実践演習も!

2008年に開講したDTワーカー養成講座はコロナ禍という試練を経て、オンライン&対面で全国各地から受講していただけるようになりました。今期も2日目の10月26日にはお馴染みのニュージーランドDRT協会の前会長(現・戦略的国連携担当ディレクター)Orquidea Tamayo Mortera(オルキディアさん)の「ニュージーランドにおけるDTの発展と実践」をテーマに講演がありました。

DTの基幹講座に脳科学、行動分析、スリープマネジメント、地域福祉、ケアプランと生活課題など当講座ならではの興味深い講座が続き、12月6日(土)は東京都新宿区の研修室で水野基樹先生のコミュニケーション講座とDTプログラムの体験で一気に仲間意識が高まりました。7日(日)は東小金井市の特別養護老人ホーム「つきみの園」のデイルームをお借りして、茶谷利つ子先生と芹澤理事長による「DT実践の演習」。先輩DTワーカーもアドバイザーとして参加され、グループに分かれてアセスメントシートからプランニングへ、最後はそれぞれのグループが「DT劇場」さながらのロールプレイを発表し、対面講座の醍醐味を味わうことができました。2026年2月21日(土)には認定試験が行われ、24人の新DTワーカーが誕生しました。



オルキディアさん



この元氣、いつまでも!DTW第21期生(前列左:茶谷利つ子先生)



DTプログラムの体験



DTプランニングのグループワーク



水野先生のコミュニケーション演習

## DT&TRの国際交流

### ダイバーショナルセラピーと レクリエーションセラピーのネットワーク

カタカナやアルファベットが並んでしましますが「どのような状況にあっても“楽しむ”ことは一人一人の人生にとって大切な権利」だという考えのもと、2017年頃から国際的なネットワークが結成され交流が広がっています。現在、次のような各国の協会が連携して、年に数回のオンラインミーティングをもって情報交換し、年に一度オンラインでIKE (International Knowledge Exchange/国際知識交流イベント) を開催しています。

- American Therapeutic Recreation Association (ATRA)/アメリカ
- National Association of Activity Professionals (NAAP)/アメリカ
- Canadian Therapeutic Recreation Association (CTRA)/カナダ
- National Activity Providers Association (NAPA)/イギリス
- Australian Recreational Therapy Association (ARTA)/オーストラリア
- New Zealand Society of Diversional and Recreational Therapy (NZSDRT)/ニュージーランド
- Diversional Therapy Association of Japan (DTAJ)/日本

もともと日本のダイバーショナルセラピー (DT) は2000年頃からオーストラリアとの交流によって導入され、2002年のNPO法人 日本ダイバーショナルセラピー協会 (DTAJ) の設立大会には在大阪オーストラリア総領事が出席されるなど深い友情で結ばれてきました。オーストラリアへのDT研修ツアーは29回、オーストラリアからの代表団も2回訪日し、各地で日豪シンポジウムやフォーラムを開催。DTワーカー養成講座もオーストラリアのDT養成カリキュラムをベースに作成しました。その後、2015年からニュージーランドとの交流も始まっています。

2017年にはオーストラリアの呼びかけで世界各国のDTと同様の目的や理念を持つ団体がネットワークを組むようになり、Diversional and Recreational Therapy国際連携が発足しました。オンラインミーティングを重ねる中、始まったのがIKEで日本からも毎回プレゼンテーションが行われてきました。今年の第4回では看護師の加藤真理子さん (第12期DTW) が「訪問看護におけるDTの実践」について発表し、各国で70数名に視聴され「素晴らしい活動だ」などのコメントが寄せられました。

### 11月にアメリカからNAAPの代表を迎えてフォーラム開催へ

このように日本のDT活動が海外にも知られるようになり、各国からカンファレンスに招かれるようになってきました。2024年4月には江口理事がNAAPに参加。8月には芹澤理事長がNZSDRTでプレゼンとSONASセッションのワークショップ、2025年4月には芹澤理事長がNAAPで、2026年1月にはNAPAで芹澤&江口がプレゼン…と、ニュージーランドやイギリスではスタンディングオベーションが贈られるほど日本のDT活動に関心が寄せられています。

このような経緯から、今年は11月にアメリカのNAAP理事のColleen Knudsonさんが来日することになり、東京 (関東圏) で「日米DT&TR交流フォーラム」、札幌では豊生会グループ恒例の「DT事例発表会」にColleen (コリン) さんを招いて地域の皆さんとともに講演会が開催されます (11月8日)。

詳細は決まり次第ホームページ等でお知らせしますので、ぜひこの機会に、アメリカの長い歴史を持つ専門職としての“レクリエーションセラピー (RT)”に触れてみませんか!



ニュージーランドに集った各国の代表



加藤真理子さんのIKEでのプレゼン



11月に来日するNAAPのColleenさん

アメリカでは1988年に「連邦政府から公的助成を受けるすべての老人ホームは、有資格専門家による継続的なアクティビティプログラムを提供すること」が義務付けられたといいます。ATRAのBrent Wolfe氏は次のように述べています。「RTとはレクリエーションやその他のアクティビティをベースにした介入を用いた体系的なプロセス。疾病や障害のある個人のニーズをアセスメントし、心理的健康と身体的健康の維持、回復、ウェルビーイングの手段となる」。また呼称は多様でコリンさんのNAAPでは“アクティビティプロフェッショナル”と呼んでいます。ダイバーショナルセラピーもその仲間ということになります。

# 第4回 「DT実践発表全国大会」

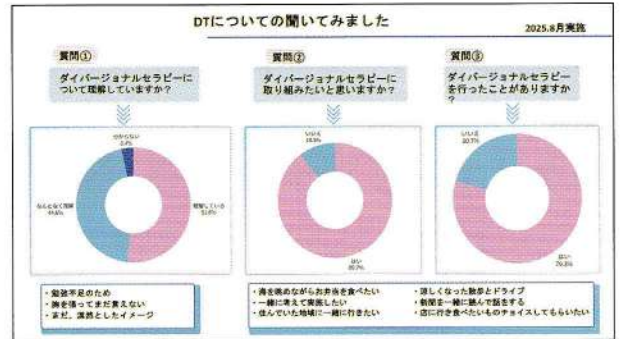


## 楽しさが活きづく暮らしのカタチ ～取り組み2年からの可能性～

**山村 幸恵** 〈第19期DTW、介護福祉士、ウェルビーイング係長〉

社会福祉法人 愛鍼福祉会 特別養護老人ホーム  
ゴールデンレイク(宮崎県)

DTに取り組んで2年。「その人らしく生きる支援」「利用者と職員が一緒に楽しむ関係性」をケアの軸に捉えるためDT専任のウェルビーイング係長を配置した。そのことによってDTWチームと多職種連携ができて「遊びも=ケア」という価値観が共有され、多様なレクリエーションや一人一人の利用者の思いを実現することにもつながっている。DTの魅力発信は、施設の魅力度アップ！離職防止、採用強化もできる可能性がある。



## 子ども食堂の運営に携わる認知症高齢者の活躍

**火口 弥生** 〈第2期DTW、社会福祉士、介護支援専門員〉

有限会社 あかね福祉サービス(愛知県)

地域の居場所づくりを目的としたNPO法人の子ども食堂で提供するカレーづくりに通所介護の利用者が関わることで、それぞれの得意を引き出すことができた。その実践課程で、利用者全員が役割を持てるよう作業工程を細分化し、作業を通して自信の回復を目指してきた。また、新たな作業にチャレンジしたい気持ちも生まれ、当たり前に行ってきた家事能力は認知症を発症しても大部分が保たれていることを実感できた。

【食べることは生きる事 生きる事は生きる事！】

- ◎みんなでワイワイ食べる楽しさを感じる
- ◎フードバンクの活用で、食べ物の有難さを実感する
- ◎自分のやってみてみたい・出来ることで社会とつながる

食材の提供・調理・片付け・食べる...

「食べる」でつながる場

子ども食堂として、活動の可能性を探る



## のんびり村花岡に“のん太鯨”がやってきた!

左： **河村 真紀** 〈第9期DTW、介護福祉士〉

右： **松岡 裕子** 〈第12期DTW、介護福祉士〉

株式会社 ホームケアサービス山口(山口県) 特定施設 のんびり村花岡

入居者の中には疾患や食事形態によって外出、外食が難しい方もいるので、地域で馴染みのすし屋「のん太鯨」の協力を得て、のんびり村花岡で「出張・のん太鯨」を開催。事前に店側と何度も打ち合わせを重ね、湯呑やのぼり、醤油さし、箸なども実際に店で使用しているものを用意し、お店で食事をしている雰囲気を楽しめた。普段はミキサー食の方にもぎり寿司の形で食すことができ、普通食と同じくらいのカロリーが摂れた。

何を握っているのかわね～

美味しそうですね！早く食べたいね～

おかわりをチョイス!!

各地で活躍するダイバーショナルセラピーワーカー (DTW)の皆さんが、それぞれのDT活動やアイデアを発表し合い共有する「DT実践発表全国大会」が、2026年9月7日(日)に東京で開催されました。今回も会場とオンラインで集うハイブリッド開催で、会場の新宿スクエアタワーの研修室に30名、オンラインで40名が参加して、12題のプレゼンテーションが行われました。参加者は北海道から沖縄までまさに全国大会! それぞれDTならではの笑いあり、涙ありの熱のこもった実践が発表されました。その概要をご紹介します。

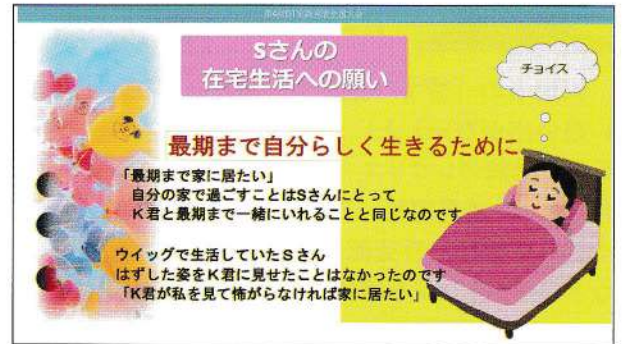


## 最期の瞬間まで自分らしく生きる

加藤 真理子 〈第16期DTW、看護師〉

株式会社 ボンズシップ(東京都)  
訪問看護リハビリステーション

治療の限界を迎えた患者に対し、医療行為ではなくQOLを重視する「BSC (Best Supportive Care)」「DNAR (Do Not Attempt Resuscitation)」の選択を尊重し、訪問看護師として本人と家族の思いを中心にした支援を実践。患者の望み（ディズニシー訪問、七五三写真撮影、公園で鯉のぼり見学、メッセージカードや録音作成）を複数実現。母子が充分に楽しい時間を共有して旅立たれた。



## 事務系スタッフプロデュース型のDT活動

横山 昭宏 〈第19期DTW、事務責任者〉

社会福祉法人 湘南愛心会  
老人保健施設かまくら(神奈川県)

介護業務に追われる現場職員の代わりに、事務系職員が主体となってDTマインドを取り入れた行事やイベントを実施して件数を増やしたり、事務と看護が連携して「外出レク」を実施するなどして利用者の満足度を高めることができた。さらに利用者の特技や好きなことを積極的に取り入れることで「利用者プロデュース型」DT活動へと広がった。



## 老健でのDT活動

能條 晴香 〈第20期DTW、作業療法士〉

社会福祉法人 湘南愛心会  
老人保健施設かまくら(神奈川県)

認知症を伴う利用者へのアプローチとしてDTWでもある作業療法士と介護スタッフとが連携し、家事作業を通じてQOLの向上、自宅復帰を目指した。フロアに洗濯物コーナーを用意し、鏡を設置することで自分自身と向き合う機会を作り、「見える化」された環境によって誰もが気軽に活動できる参加型活動に繋がった。楽しさを感じることで精神機能の賦活・向上に繋がり、一人ひとりの生活が充実したものとなるのがわかった。





## 学校に行こう ～半年間の学生生活～

**安濟 芳枝** 〈第14期DTW、介護福祉士〉  
株式会社 おいらーく 住宅型有料老人ホーム  
パープルロード元町(北海道)

入居者の「皆と一緒に楽しみたい」という訴えや「学生時代に良い思い出がない」という思いに着目し、学校の授業や行事に模した6か月継続のレクリエーションを企画。授業・行事（4月入学式、5月家庭科、6月遠足、7月運動会、8月図工、9月卒業式・謝恩会）を通して他社との交流や楽しみが増し、楽しい・嬉しい・ウキウキなどのポジティブな感情を表出する機会が増えた。



みんなと参加できて楽しかったよ  
ありがとう！



## 台湾で神になった父に会いに行きたい ～海外透析実現に向けて3年間の取り組み～

左：**尾崎 美由紀** 〈第10期DTW、看護師〉  
右：**初田 陽子** 〈第18期DTW、看護助手〉  
医療法人社団 仁誠会 仁誠会クリニック黒髪(熊本県)

透析歴14年(当時)、腰を痛め通院もやっつとで、ずっと続けていた居合道もできず、楽しみがないと嘆いていた患者さんが、海軍兵だった父親が台湾で紙のように尊敬され祀られていることを知り、現地へ行きたいとの希望を持った。それを実現しようとDTWと看護職員がチームを組んで取り組み、それがその人の生きがいとなった。事故や身内の不幸などもあったが諦めず積極的な治療を続けて体調を整え3年後に実現できた。

### DTの取り組みの年表

- ・2020年 ①コロナ蔓延で台湾旅行の中止
- ・2021年 ②文化祭での台湾保安堂の紹介
- ・2022年 ③テレビの紹介、検査、治療の声掛け
- ・2023年 ④台湾保安堂旅行の実現 旅のしおり作成
- ・2024年 ⑤全国戦没者慰霊祭への参加 旅のしおり作成



## 「老健デイ」をDT視点で

**山本 樹** 〈第19期DTW、介護福祉士〉  
社会福祉法人 南東北福祉事業団  
東京総合保健福祉センター  
介護老人保健施設 江子田の森(東京都)

2024年より介護老人保健施設の中で週3回、参加希望者やレクリエーション的介入が必要と思われる入居者を募って「老健デイ」という活動が始まり、その担当者としてレクリエーションにDTの視点を取り入れた。積極的に利用者同士がお互いを知り合うコミュニケーションの機会を作ったり、時には利用者の隣に座って話を聞くなど、利用者個人に焦点を当てるというDTの方法を周知することで、利用者からは「また参加したい」など積極的な意見が聞かれるようになった。

### 老健デイとは

- ・2024年12月からスタート
- ・老健内で週に3回14～16時の間、各ユニットより参加したい方を集めてデイサービスのような時間を作る。
- ・実施する内容は介護職員によるレクリエーション、ティータイム、リハビリ職員による体操、合唱。
- ・参加の促しはするが本人の希望で自由参加
- ・途中までや途中からの参加もOK

皆さんで座って  
目線を合わせて  
コミュニケーション





## なぜDTが必要か？なぜDT専任を配置できるのか？

左：山下 哲也 〈第13期DTW、介護福祉士〉

右：田邊 笑美子 〈看護師、施設長〉

社会福祉法人 湘南愛心会 特別養護老人ホーム 逗子杜の郷(神奈川県)

当施設では高齢者や職員がどうしたら生き活きと暮らせるのか？を追求し、10年かけてDT活動を積み重ね、介護の現場を改革し、DTワーカーをDT専任スタッフとすることができにに至った。入居者が生き活きと楽しまれ、職員からは「DTワーカーが活動してくれるから自分たちの仕事が充実できる」との声も。ブログを見てご家族も喜ばれ、新規就職希望者も増えている。



## 笑顔はやっぱり伝染する

左：矢萩 弘美 〈第17期DTW、介護福祉士〉

右：山本 裕 〈第18期DTW、介護福祉士〉

社会福祉法人 湘南愛心会 特別養護老人ホーム 逗子杜の郷(神奈川県)

「DTアセスメント」を取っていくうちに、入居者だけでなく家族との関わりも深くなっていき「逗子杜の郷で最期を迎えられてよかった」という言葉をいただくことも多い。専任のDTWがいることで様々な「外出プログラム」や“やりたくてできなかったこと”を叶える「夢叶プロジェクト」もできるようになった。特に最期の看取り期を家族とともに大切にしている。



## うめ俳句クラブ ~活動の展開と交流の広がり~

草薙 和枝 〈第19期DTW、介護福祉士〉

一般財団法人脳神経疾患研究所  
東京リハビリテーションセンター世田谷  
通所リハビリテーション梅ヶ丘(東京都)

DTの4つのキーワードである「レジャー、ライフスタイル、チョイス、コミュニケーション」を併せ持ったクラブ活動を展開し、中でもコミュニケーションに注目し重点的に支援を行った。俳句好きのデイサービス利用者がDTワーカーと一緒に2023年に「うめ俳句クラブ」を発足させた。以来、活動の手順やスタイルが確立され、参加者は順調に増えている。その様子を見て「折り紙クラブ」「トランプクラブ」など利用者が自発的にクラブを作るようになった。

「人と心を大切に」をモットーに  
沖縄の地に地域サービスの創造と提供を

株式会社 フロンティアゆい 代表取締役 小原 鑑善

調剤薬局 (沖縄市 浦添市) 福祉用具レンタル販売 (宜野湾市)  
訪問介護 (那覇市)

〒901-2204 沖縄県宜野湾市上原2丁目4-10  
電話: 098-892-5511 FAX: 098-892-0777  
<https://frontier-yui.com/>

“こころ”の安心と安全をサポート  
“楽しさ”のプライオリティを考えます

株式会社 ホームケアサービス山口 代表取締役 岡添 兆平

地域密着型特定施設 のんびり村通津・今津(岩国市)  
グループホーム&小規模多機能 のんびり村米川・  
特定施設&デイサービス のんびり村花岡・居宅介護支援事業所(下松市)、  
福祉用具の販売&レンタル

本社 〒752-0928 山口県下関市長府才川1-35-21  
電話: 083-248-7788 FAX: 083-248-6688  
<http://www.homecare-yamaguchi.co.jp/>

最高の笑顔に出会いたい

— MAKE YOU SMILE —

可能性は無量大

株式会社 ライフジャパン 代表取締役社長 田尻 雅子

〒861-8043 熊本県熊本市戸島西2-3-10  
電話: 096-360-1122 FAX: 096-360-4831  
<https://lifejapan-k.jp/>

ウエルフェアのプランニングとネットワークで  
DTの普及に努めます。

有限会社 ウェル・プラネット 代表取締役 芹澤 隆子

〒630-0256 奈良県生駒市本町6-4 D&Dビル3F  
電話: 0743-84-7228 Fax: 0743-84-7218  
<https://welplanet.co.jp/>

心ひとつ

～やさしく、やわらかく、あたたかく～

医療法人社団 仁誠会 会長 田尻 宗誠 理事長 田尻 哲也

介護老人保健施設 ケアセンター 赤とんぼ  
〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10 電話: 096-331-3737 Fax: 096-360-7103  
<https://www.jinseikai.or.jp/>

有料老人ホーム 赤とんぼ大津、通所リハビリテーション 赤とんぼ大津  
仁誠会クリニック(黒髪、大津、新屋敷、ながみね、光の森)

「笑顔と元気」で、社会に貢献します。

社会福祉法人 清松福祉会 理事長 児玉 誠

<http://www.seishow.or.jp/index.html>

総合老人福祉施設 夢心 施設長 大野 大輔

〒573-0161 大阪府枚方市長尾北町1-1785-2  
電話: 072-866-3939 Fax: 072-866-5656

総合老人福祉施設 安心苑 施設長 狩保 誠

〒573-1138 大阪府枚方市招提北町2丁目25-1  
電話: 072-866-2217 Fax: 072-866-2178

青い海、広い空、宮崎の自然に囲まれて  
その人らしく生きる姿を最期まで支援

社会福祉法人 愛鍼福祉会 理事長 辻本 瑠璃子

特別養護老人ホーム ゴールデンレイク

施設長 日高 徹也

〒889-2161 宮崎市加江田4514-2  
電話: 0985-65-2828 Fax: 0985-65-1700  
<https://www.aishinfukushikai.jp/>

趣味活動を通して知的好奇心をくすぐる!  
“もくもく、わくわく、Doki Doki”を提供します。

有限会社 あかね福祉サービス 取締役 火口 弥生(DTW)

通所介護「カルチャーClub あかね」[カルチャーClub あかね覚玉山]

〒464-0064 愛知県名古屋市中千種区山門町2-69 フルライフ覚玉山

電話: 052-757-5244 Fax: 052-764-7217

<http://www.akane-fukushi.com/>

“気づきの医療”で、DTの実践と  
リハビリテーションの充実を目指します。

医療法人社団 和風会 理事長 橋本 康子

橋本病院 <http://www.wafukai-hashimoto.jp/>

〒768-0103 香川県三豊市山本町財田西902-1 電話: 0875-63-3311

千里リハビリテーション病院 <http://senri-rehab.jp/>

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西4-6-1 電話: 072-726-3300

絆を深め 人のこころに幸せを  
株式会社ボンズシップ 代表取締役 清水 誠太

ボンズシップ訪問看護リハビリステーション

本社・東陽ステーション

〒135-0016 東京都江東区東陽3-10-5 丸半ビル別館3階

TEL: 03-5633-7290 FAX: 03-5633-8242

(亀戸・森下・平井・墨田の各サテライト)

ボンズシップ居宅介護支援事業所

〒135-0007 東京都江東区新大橋1-4-4 イマス新大橋ビル3F

ボンズシップ訪問マッサージ

〒135-0016 東京都江東区東陽3-10-4 林ビル2F

めざすのは、  
「豊かさやさしさ」のある暮らし  
フランスベッド株式会社 代表取締役 池田 茂

〒163-1105 東京都新宿区西新宿6-22-1  
電話：03-6741-5555 Fax：03-6741-5556  
<https://www.francebed.co.jp/>  
メディカル事業本部  
〒187-0004 東京都小平市天神町4-1-1 メディカレント東京 3F  
電話：042-349-5444 FAX：042-349-5417

すべては患者さん、利用者さんのために

社会福祉法人 南東北福祉事業団 理事長 渡邊 貞義

(本部) 〒963-0532 福島県郡山市日和田町梅沢字丹波山3-2  
電話：024-968-1010 FAX：024-958-6323  
<https://www.kaigo-hiwada.com>

90年脈々と受け継いできた羅針盤  
「四恩報謝」「聖労」「地域とともに育つ」そして  
「職員満足なくして利用者満足なし」

社会福祉法人 東京聖学院 理事長 山田 秀昭  
<http://www.seirouin.or.jp/>

特別養護老人ホーム つきみの園 施設長 榎本 光宏  
〒184-0012 東京都小金井市中町2-15-25  
電話：042-386-6511 Fax：042-386-6512

港区立特別養護老人ホーム／港区立高齢者在宅サービスセンター  
サン・サン赤坂 施設長 沼倉 賢司  
〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目6-14  
電話：03-5561-7833 FAX：03-5561-7837

すべては患者さん、利用者さんのために

一般財団法人 脳神経疾患研究所 理事長 渡邊 貞義

(本部) 〒963-8563 福島県郡山市八山田七丁目115  
電話：024-934-5322  
<https://www.minamitohoku.or.jp>

ささえあい たすけあい ひびきあう  
医療的ケア対応の訪問介護サービス

株式会社 響 代表取締役 高井 祐一

〒264-0028 千葉市若葉区桜木5-3-1 モアクレスト千葉A棟909号  
電話：043-232-7580 Fax：043-232-7591  
訪問介護サービスひびき  
<https://hibiki-kaigo.com/>

老いて、楽しく…おいら〜く!

地域の総合的な介護・福祉企業をめざす

株式会社 おいら〜く(豊生会グループ) 代表取締役 星野 二三江

有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、デイサービス等  
〒007-0809 札幌市東区東苗穂9条3-1-40  
電話：011-790-5311 Fax：011-790-5312  
<https://oira-ku.com/>

いつまでも住み続けたい幸せを感じる街づくり。  
DTケアガーデンでは学童との交流も!

社会福祉法人 ユーカリ優都会 理事長 嶋田 哲夫

介護老人保健施設 ユーカリ優都苑  
〒285-0852 千葉県佐倉市青管1010-15  
電話：043-460-7117 Fax：043-463-7555  
<https://yutokai.com/>  
グループホーム・学童保育所併設 ユーカリ優都びあ  
介護付有料老人ホーム ミライアコート宮の杜  
特別擁護老人ホーム ユーカリゆうとの杜

高度医療機関との連携から在宅療養まで  
地域に根差した豊かな医療を創造

社会医療法人 豊生会 理事長 星野 豊

東苗穂病院、介護老人保健施設ひまわり他  
〒007-0803 北海道札幌市東区東苗穂3条1-2-18  
電話：011-784-1121 Fax：011-780-2058  
<https://www.houseikai.or.jp/>

私からあなたへ、あなたから私に、  
笑顔と笑顔の贈り物

社会福祉法人 えがりて 理事長 松田 久美子

特別養護老人ホーム 吹上苑  
施設長 宮崎 京子  
〒369-0113 埼玉県鴻巣市下忍4461  
電話：048-548-8801 Fax：048-548-8803  
<http://www.egarite.or.jp/>

地域に根ざした  
豊かな医療と福祉を創造する

社会福祉法人 豊生会 理事長 星野 豊

特別養護老人ホーム ひかりの  
〒007-0032 北海道札幌市東区東雁来12条4-1-15  
電話：011-790-1400 Fax：011-790-1401  
<https://hikarino.or.jp/>

## 2026年度 通常総会のご案内

NPO法人 日本ダイバーショナルセラピー協会は、2026年4月1日より第24期を迎えています。つきましては下記の通り、「2026年度通常総会」を開催いたします。今回もオンラインによる開催となりますが、会員の皆様にはぜひご出席賜りますよう、お待ちしております。

- 日 時：2026年6月13日(土) 総会13:00~14:00 対象：個人および法人正会員
- 総会議決は、インターネットによる6月12日(金)までの事前投票による表決となりますので、会員の皆様は日本DT協会からお送りする総会資料を審議いただき、表決をネット送信してください。そのうえで6月13日当日は、ご確認のためにもぜひオンラインでご参加ください。

### 特別講演会

### 介護をもっと楽しく、もっと楽に ~ノーリフトケア®とは~

総会終了後、オンライン (zoom) にて恒例の「特別講演会」を開催します。今回は「持ち上げない看護」「抱き上げない介護」を提唱する一般社団法人 日本ノーリフト協会の代表理事・保田淳子さんに、自己犠牲ではない正しい技術と知識によって看護・介護の負担を軽減し、利用者の尊厳を守るケア「ノーリフトケア」について講演いただきます。会員でない方も大歓迎！皆様お誘い合わせでご視聴くださいますよう、お待ちしております。



- 講 師：保田 淳子 さん  
一般社団法人 日本ノーリフト協会の代表理事
- 日 時：2026年6月13日(土) 14:00~15:00
- 対 象：DTAJ会員および一般の方
- 参加費：無料
- お申し込み：右のQRコードからお申し込みください。  
会員の方は総会用のQRコードで参加できます。



## 会員専用サイト Good Feeling Cafe

をクリックしてみてください！

Good feeling Café は、パソコンでもスマホでもご覧になれます。

「Good feeling Café/グッドフィーリングカフェ」は会員専用サイトです。会員の皆様にはIDとパスワードをお送りしましたが、もうご覧いただけましたか？カフェの入り口は、[DTAJトップページの左下](#)にあります。メニューもだんだん増えてきました。参加できなかったセミナーやワークショップの概略も分かるようになっていきます。

### 2026年度会員募集中！

会員の方には「DT通信」や各種お知らせ等を優先的にご送付します。また当協会が主催するセミナーやイベントに会員料金で参加、受講していただけます。法人正会員には全職員に会員料金が適用されます。

種 類	会 費 (年間)	会 員 資 格
個人正会員	6,000円	日本DT協会の活動に協力、共に研究する個人
協 力 会 員	3,000円	日本DT協会の活動に賛同する個人
法人正会員	50,000円	日本DT協会の活動を支援、共に研究する団体、企業

日本ダイバーショナルセラピー協会(DTAJ)への入会、DTフォーラム等の資料請求、ご連絡などは次の方法でお問い合わせください。

- 資料請求&お問い合わせ ※事務局は奈良県生駒市に移転しました。
- ☆ DTAJホームページ → <https://dtaj.or.jp/>
  - ☆ DTAJ事務局へ電話 → 0743-84-7228
  - ☆ DTAJ事務局へFAX → 0743-84-7218
  - ☆ DTAJ事務局へ郵送 → 〒630-0256 奈良県生駒市本町6-4 D&Dビル3F

スマホでのお問合せはこちら

